

電気・電子・情報系専門分科会

第1回 組込み分科会（仮称） 議事録

平成19年6月16日（土）13:30～17:30
ビリティガーデン：3F 302A セミナールーム

【議題】

1. 実践教育訓練研究協 電気・電子・情報系専門部会 組込み分科会 発足式

● 挨拶

千秋 広幸 実践研理事（電気・電子・情報系専門部会副会長）

- ・電気・電子・情報分野はますます難しい時代に入ってきている。より一層の技術革新に向けて努力して行く必要が求められる。
- ・組込み系エンジニアの技術者育成や技術向上に向けて、この分科会が発足したことには、大きな意義がある。
- ・今回の実践報告に向けて、ご準備頂いた方々には、お忙しい中、大変感謝申し上げる。
- ・今後、当分科会のますますの発展と活躍を期待し、より有意義な取組みが行なって行けるよう尽力して行きたい。

企業側の参加者一覧

氏名	施設名	所属（Eメール）
溝上 浩司	(有)MIZOU PROJEKT JAPAN	取締役社長
末棟 達弥	〃	
石川 知之	(株)ソフィアシステムズ	営業本部 営業3部

参加者一覧表（施設の北から順）

氏名	施設名	Eメール
千秋 広幸	山形県立産業技術短期大学校	senshu@astro.yamagata-cit.ac.jp
小玉 博史	東北職業能力開発大学校	kodama@tohoku-pc.ac.jp
永野 秀浩	関東職業能力開発大学校	h_nagano@oyama-pc.ac.jp
小林 克行	長野県工科短期大学校	koba@cs.pit-nagano.ac.jp
中谷 努	職業能力開発総合大学校	nakaya@uitec.ac.jp
玉井 瑞又	京都職業能力開発短期大学校	tamai@cs.kyoto-pc.ac.jp
大久保 欣也	中国職業能力開発大学校	okubo@ap.chugoku-pc.ac.jp
平島 隆洋	中国職業能力開発大学校	hirasima@ap.chugoku-pc.ac.jp

2. 実践報告

(1) 平島 隆洋 先生（中国職業能力開発大学校）による組込み機器の共同研究について

「産学連携による高度組込み機器の開発」

1. 組込み教育の現状と問題点
2. 市場適用・産業適用としての組込み
3. 製品化された組込み機器の事例

小型汎用高速高精度ディジタルオシロスコープ DEBUGSCOPE の基本動作原理
50Ω系高速高精度ディジタルオシロスコープ DEBUGSCOPE 2 の産学連携開発
新型 DEBUGSCOPE の構想

4. 大成功へ向けての教育展開・産学連携

- (2) 溝上 浩司 様 ((有)MIZOUE PROJECT JAPAN) による組込み系製品の商品開発について
1. 小型汎用高速高精度デジタルオシロスコープ DEBUGSCOPE の実機デモ
 2. 50Ω系高速高精度デジタルオシロスコープ DEBUGSCOPE 2 の実機デモ
 3. 小型カラー液晶搭載モバイルデジタルオシロスコープ DEBUGSCOPE 3 の実機デモ

3. 組込み分科会の組織体制について

(1) 分科会の名称について

- ・最近の技術動向から、名称については、組込み分科会とする。
- ・「組込み」または「組み込み」と記述するかは、JIS の規格に従う。
→ JIS X 0015 JIS 用語集には、「組込み」で統一されている。
- IPA (独立行政法人 情報処理推進機構) の ETSS では「組込み」という名称を使用している。

(2) 組織体制について

組織体制 (案)

役職名	氏 名	施設名	備 考
主 査			
幹事 (ブロック統括担当)	玉井 瑞又	京都職業能力開発短期大学校	関東・中部
幹事 (東ブロック担当)	仲谷 茂樹	東北職業能力開発大学校	東地区
幹事 (西ブロック担当)			西地区
事務局長	大久保 欣也	中国職業能力開発大学校	
技術アドバイザー	石川 知之	(株)ソフィアシステムズ	企業アドバイザー
技術アドバイザー	溝上 浩司	(有)MIZOUE PROJECT JAPAN	〃

4. 今後の計画について

- ・実践教育訓練研究協会ホームページに発足式ならびに実践報告等の内容を掲載する。
- ・当分科会の会員募集ページを掲載する。
- ・当分科会のメーリングリストを立ち上げる。
- ・今年 10 月以降に分科会会議を開き、具体的な計画を立案する。

5. 実践教育研究協会 2007 東京大会への取組みについて

- ・東京大会では、当分科会の活動目的、概要などを会員に紹介する発表を 1 件行なう。
(担当：玉井 (京都能開短大)、大久保 (中国能開大))
- ・実装技術研究分科会のセッションに合わせて、当分科会のセッションを設ける。
- ・今回の実践報告を東京大会でも行なう。
「産学連携による高度組込み機器の開発」・・・ 平島 (中国能開大)
「組込み系製品の商品開発について」・・・ 溝上 ((有)MIZOUE PROJECT JAPAN)
- ・大久保先生による組込み技術に関する発表を 1 件行なう。
- ・現在エントリーされている発表の中から同技術要素を用いたテーマについては、当分科会のセッションの中で発表してもらう。

6. その他

- ・主査、西ブロック担当幹事の人選については、分科会事務局で適任者を推薦する。
- ・定期的に報告会や研修会を行なえるよう企画して行きたい。